

問題番号	経由団体	問題点	問題点の内容	状況	要望	準拠法
5. 税制						
1	日機輸	不明確な税制・行政手続	・円借款/無償案件での税金の免税（還付）について、税務当局が認識していない。また、VATの免税・還付の手続きについても同様で、円滑な運用になっていない。	継続	・制度・情報の周知徹底と円滑な運用。	
7. 駐在員・出向者等に関する問題						
1	日機輸	ビザ・就労許可取得手続の煩雑・遅延	・2023年5月より、日本人の短期ビジネス出張等では、事前のビジネスビザの取得が不要となったのは大きな改善である。一方でe-VISAは稼働しているものの、一部使用できない等あり、この点の改善を希望する。	変更	・省力化に向けたシステムの整備。Processing Feeのシステム上でも支払いも可能にして欲しい。	
2	日機輸	ビザ・就労許可取得手続の煩雑・遅延	・Work Permitを取得する手続きが複雑で時間を要する。	継続	・手続きの緩和、簡易化。	
10. 環境問題・廃棄物処理・炭素中立関連の諸規制						
1	日機輸	二国間クレジット制度の未締結	・日系企業によるアフリカでの再エネIPP参入において、価格競争力が問題となるケースが多い。二国間クレジット制度（JCM：Joint Crediting Mechanism）が締結されることで、EPC価格の低減を図ることができ、価格競争力を高める期待を持っている。	新規	・ケニア、エチオピア、セネガル、チュニジアと締結国が増えたことに歓迎。アフリカ各国(二国間協議中のベナン含め)と、JCM締結を進めて頂きたい。	
11. 非効率な行政手続き・予見性を欠く法制度等						
1	日機輸	公的書類での使用言語要求	・公的機関への提出書類はすべからく、ポルトガル語での作成が求められる。	継続	・書類作成言語に英語を含めてほしい。	